

「とんぼりリバーウォーク」をブラっと歩いて楽しむ新文化 「とんブラ」ロゴマークを募集しています！

南海電鉄（本社：大阪市中央区／社長：亘 信二）では、現在推進している中期経営計画「凍進130計画」において「観光・インバウンドビジネスの推進」「なんばのまちづくり推進」を、それぞれ基本方針の1つに掲げ、さまざまな取組みを進めています。

その一環として4月1日からは、大阪市建設局が公募・選定した道頓堀川遊歩道（とんぼりリバーウォーク）の管理運営事業者として、管理運営を行っています。

そしてこのたび、同地の認知度向上と魅力PRを目的とし、大阪ミナミの象徴エリアであるとんぼりをブラっとする楽しみを「とんブラ」と表現し、大阪の新しい楽しみ方・文化として発信します。それに伴い、皆さまからロゴマークのデザインを募集しています。

当社では今後、「ミナミまち育てネットワーク」会長会社として、また、なんばに拠点を置く会社として、多くの人々が行き交う大阪の象徴ともいえる道頓堀エリアの活性化に向け、賑わいの創出に努めてまいります。



とんぼりリバーウォーク(戒橋・太左衛門橋間)

詳細は別紙のとおりです。



管理運営エリア（浮庭橋～日本橋間の道頓堀川両岸遊歩道）※公募時の資料より

「とんブラ」ロゴの公募について

1. 公募内容

とんぼりリバーウォークの新しい楽しみ方「とんブラ」。

とんぼりをブラっとする楽しみを表現する、「とんブラ」のロゴマークを募集します

2. 公募の目的

堺筋から湊町までつながる道頓堀の新名所「とんぼりリバーウォーク」をブラっとする「とんブラ」を、今後の新たな大阪の楽しみ方の1つとして提案します。

今回のロゴマーク公募は、この「とんブラ」に、より親しみを持っていただくことや、多くの人に「とんブラ」を楽しむ文化を広めること、「とんぼりリバーウォーク」の魅力を知っていただくことを目的としています。

3. 締切

平成24年5月6日(日) 23:59

4. 応募方法

ウェブサイト「クリエイターズ・ステーション ジュハッチュー」

(URL: <http://creators-cris.jp/>) から、以下の手順でご応募ください

(1) サイトから、「ジュハッチューID登録」で登録

(2) トップページ「オレンジコース」一覧から、当該内容をクリック

(3) 応募画面からJPEG形式にて応募

※当選者には、イラストレーターまたはフォトショップ形式でデータを納品していただきます

5. 応募規定

以下の2点を満たすものに限りです

(1) 「とんブラ」の4文字が入っているもの

(2) カラーロゴ、モノクロロゴの2パターンの作成

※著作権は発注者である南海電鉄に帰属します

※応募作品の返却はいたしません

※ロゴの色や形状を一部修正して使用する場合があります

※サイズ・色は問いません

6. 結果発表

5月中旬を目処に発表します。当選者には別途ご連絡いたします。

また、当選者には、賞金10万円を進呈します。

7. ロゴの利用用途

とんぼりリバーウォークで開催するイベントの印刷物やTシャツなどのPRツール、その他とんぼりリバーウォークの広報物などで広く利用します。

8. お問い合わせ先

とんぼりリバーウォーク事務所 06-6644-7565 (平日9時~17時50分)

参考

とんぼりリバーウォークの管理運営について

1. 管理運営事業者

南海電気鉄道株式会社

2. 運営管理期間

平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間

3. 運営管理物件

(1) 名称 とんぼりリバーウォーク

(2) 所在地 浮庭橋(湊町)～日本橋(宗右衛門町)間の道頓堀川沿いに設置された遊歩道
両岸約2km

(3) 面積 16,590㎡(水域を除く)

4. 主な受託業務内容

(1) 「賑わい創出に関する業務」

(2) 「維持管理業務(清掃警備)」

5. 具体的な取組み内容

「大きな集客力を生み出す」「リバーウォークの形状を活かす」「地域貢献」の3点をコンセプトとし、道頓堀周辺を散策している人々に楽しんでいただけるイベントや、憩いの場としての活用を創出していく取組みを進めてまいります。

具体的には、行政や地元商店会などと協働で、道頓堀周辺の活性化につながる水辺と遊歩道が一体となったイベントや、日常の定期的な清掃とは別に、地元の方々と協働で遊歩道の清掃を行うクリーン活動などを行う予定です。

また、当社発行のフリーペーパー「NATTS」「P+natts」などを活用し、認知を拡大していきます。

6. 本事業に取り組む目的

道頓堀川は大阪ミナミの中心にあり、多くの人々が行き交う大阪の象徴とも言うべき場所です。なんばの各施設(なんばCITYやなんばパークス)や沿線観光地(通天閣界隈など)との回遊性を持たせることで、大阪ミナミ全体を面として、より充実した賑わいの創出が可能となり、なんばエリアのさらなる活性化につなげることができると考えています。

さらには、「ミナミまち育てネットワーク」の会長会社でありなんばを拠点とする当社が本事業に参入することで、地元のまとまりを促進し、大阪の他の地域とは一味違った、ミナミならではのまちづくりに貢献することができます。そのことにより、まち全体で、国内外のお客さまにイベントやおもてなしを提供でき、活性化できるものと考えています。

以上